

2 0 2 4 年 度

法 学 部 学 校 推 薦 型 選 抜 I 入 学 試 験

問 題 紙

小 論 文

3 ページ

解答の書き方

1. 解答は解答用紙の所定の欄に、はっきりと記入すること。
2. 受験番号は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答を訂正する場合には、きれいに消してから記入すること。
4. 解答用紙には、解答と受験番号のほかは、いっさい記入しないこと。

注 意

1. 監督者の「解答始め」という指示のあるまで、問題紙を開かないこと。
2. 「解答始め」の合図と同時に、解答用紙に受験番号を必ず書くこと。ただし、氏名は記入しないこと。
3. 問題の内容についての質問には、いっさい応じないが、問題紙にページ不足・不ぞろい・印刷不良があるなど、その他の用事があるときは、だまって手をあげて、監督者の指示を受けること。
4. 問題紙と下書用紙は持ち帰ること。

問題 次の文章を読んで、各問に答えなさい。

著作権者の許諾が得られましたら、本文を掲載します。

著作権者の許諾が得られましたら、本文を掲載します。

著作権者の許諾が得られましたら、本文を掲載します。

出典：林陽子「世界の女性の憲法 女性差別撤廃条約がめざすもの」『世界』2023年4月号、92－99頁より一部抜粋。ただし、出題に当たり、一部を改変した。

問1 女性差別撤廃条約の歴史的意義についてまとめなさい（250字以内）。

問2 人権侵害に対する救済機関として通常の裁判所のほかに、国内人権機関が必要とされる理由についてまとめなさい（250字以内）。

問3 女性差別撤廃条約の目的の実現を妨げている原因について、どのような点があると考えられるでしょうか。あなたの意見を述べなさい（500字以内）。